

# ちやお!! 天自っ子

## 荒池緑地と子どもたち

市の農業センターを有する荒池緑地には、約60秒の豊かな緑生い茂る自然が残っている

数年前は田んぼが残り、虫も飛び、里山風景を保っていた緑地も、周辺の市街化の影響を大きく受けて

す。ほんの10

変化してきまし

た。

そこで、「里山

や農業の風景を大

切にし、子どもに

とっては新たなふ

るさと作り、大人

にとっては懐かし

いふるさとの再生

を」という思いで

市と地域住民が作

った「荒池なごや

かファーム構想」。

# 心のふるさとを手作り



子どもたちも参加してき

ました。

例えば、大堤池のク

リーンアップ。ホテイ

アオイで埋めつくされ

そうになった大堤池

を、泥まみれになって

清掃したことも。また、

トンボ池作りでは、野

鳥を呼ぶ水辺を作ろう

と、大人に交じって土

木作業。竹林整備をし

たり、竹細工を教わっ

たりしながら、最初は

戸惑っていた子どもた

ちが、どんどん夢中に

なっていて、最初は「ま

だまだ捨てたもんじゃ

ない」。

昔は日常生活の中で

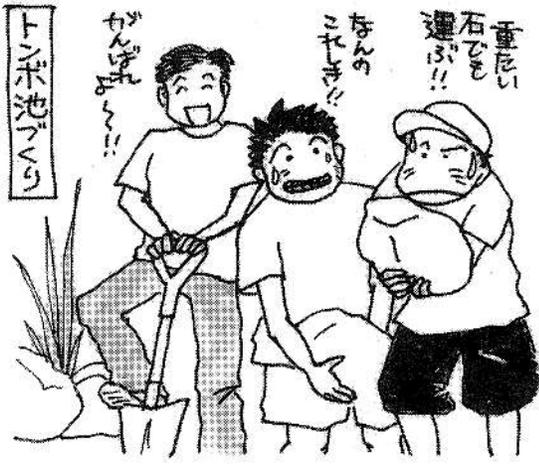
行われていた、里山保

全の作業を、今一度子

どもたちに伝えていこ

うと、楽しみながらも

真剣な大人たちもいま



「荒池緑地を次世代へ」と活動しているのが「荒池ふるさとクラブ」のみなさんです。緑地の樹林と、生息するた

くさんの生物の保全を

中心に、自然との共生

を目指して活動してい

ます。

里山整備を行う中

で、夏に行われた「昆

虫探険隊」ではたくさ

み入れたことのない荒

池緑地の秘密の場所

で、たくさんの虫に出

会いました。

今年度も「荒池子ど

も森づくり」の活動が

始まりです。「心のふ

るさと」を、自分たち

の手で作る活動はまだ

まだ続きます。詳細は、

次号で告知予定ですの

でお楽しみに。